



伊万里市男女協働参画懇話会 いまりプラザ
私の生涯学習「『男女の平等』」

『男女平等』を初めて学んだのは、いつ頃、どこでだったのだろうかと考えてみました。小学生の時から今までに、いろんな形で学んでいるはずですが、実生活では、父と母が助け合う光景を毎日目にしていました。夫婦げんかもするけれど、仲よく助け合う姿は理想だったし、自分もそうなるべきだと考えていました。

しかし現実には、ままごとや秘^{まり}つきは女の遊び、独^{ひと}楽^ま回しや相撲は男の遊び、家事や子育^こ育^こて、お茶汲みは女の仕事、力仕事や危険なことは男の仕事というような女性観・男性観をいつの間にか身に付けていたようです。くよくよ、めそめそしている男女達に「女のように泣くな」とか、自分の言い分を主張する女友達に「女のくせに言うな」というような見方や言い方をしていたのかと反省しています。

学校では『男女平等』、法の下に平等」と教わったけれど、実際は少々違っているのが現状のようです。家庭を持ち、我が子を育てている今、自分がどのくらい男女平等を意識し、また実践できているかという与自己評価は70点。皆さんは何点でしょうか。100点満点の人には、賞賛と感謝の気持ちを贈ります。私と同じ70点またはそれ以下の人は、少し意識して『自己改革』が必要のようです。満点を少しでも早く達成できるように、男女共同参画について学び、実践していくことを目標に、互いに頑張りましょう。

※出前講座を希望する場合は連絡してください。

●連絡先 男女協働・まちづくり課 (☎2115)

男女共同参画週間記念フォーラム

女も男も自分らしく生きよう

男女共同参画週間記念フォーラムが、6月29日に市民センターでありました。これは、6月23日から29日までの『男女共同参画週間』に合わせて、市や県、県立男女共同参画センターなどが共催で毎年開催しているものです。

医学博士で診療内科医の海原順子さんを講師に迎え、『こ

ころ豊かに女も男も自分らしく』と題して講演がありました。「ストレスに弱い」とは問題ではなく、ストレスに気づかないことが1番の問題。気づきが大事です。また、ストレスは生ゴミと同じ。1日に数分でよいので楽しいことを考え、ストレスはためず、その日のうちに処理しましょう」



↑講演する海原順子さん

などと話していました。参加者たちは、講師のユーモアを交えながらのわかりやすい話に、楽しみながら真剣に聞き入っていました。

郷土の文化財

会に行ける焼き物⑤

色絵菊流水文皿

1枚で表現される動と静

◆問合せ先 生涯学習課 (☎3186)

1690年〜1730年代に作られた色絵の鍋島焼で、口径15・4寸、底径8・0寸、高さ4・6寸の5寸皿です。

佐賀藩は、鍋島焼のきわめて高い品質を保つため、陶土・陶石や窯焚に用いる薪を伐り出す山林なども藩で管理していました。

この色絵菊流水文皿は、鍋島焼の盛期の作品です。鏝縁の口縁には、墨はじきで青海波が表現されています。見込みは、染付で表現された流水文で上下に3分割され、下段で流水文が渦を巻いて収束していく様子が見るものを強く引き込みます。

中段の水を表現した染付の濃は、上から下に向かって濃くなつて



いき、流水文の動きのある文様とは対照的に、穏やかな水の深みを印象付けています。

色絵菊流水文皿は、伊万里・鍋島ギヤラリーで開催中の「涼やかなつわたち鍋島焼、古伊万里展」で、公開されています。

開館時間や入館料などについては、伊万里・鍋島ギヤラリー(☎2267)までお問い合わせください。